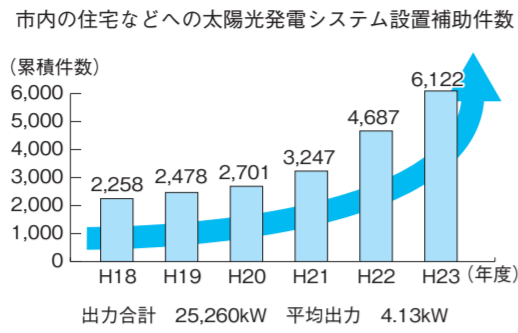


クリーンエネルギー・太陽光を活用しよう！

太陽光発電システムなどの設置費用を補助します。



【対象】個人または法人
 【補助金額・件数】下表のとおり
 【申し込み】直接または郵送で、申請書(環境事業推進課(市役所別館4階)・支所・市ホームページにあり)と必要書類を環境事業推進課へ
 ※必要書類など詳しくは、電話で環境事業推進課へ

補助項目	補助金額	補助件数
太陽光発電システム補助金		
出力10kW未満	1kW当たり54,000円(上限162,000円)	1,570件(予定)
出力10kW以上20kW未満	一律 300,000円	17件
出力20kW以上	一律 500,000円	5件
太陽熱利用システム	一律 25,000円	200件
太陽熱高度利用システム	一律 100,000円	20件
家庭用燃料電池システム	一律 200,000円	20件

注意) 太陽光発電システム補助金は、7月1日から次の追加条件あり▶全量買い取り制度を利用しないこと▶10kW未満は自立運転機能型パワーコンディショナーと非常用コンセントを設置したもの

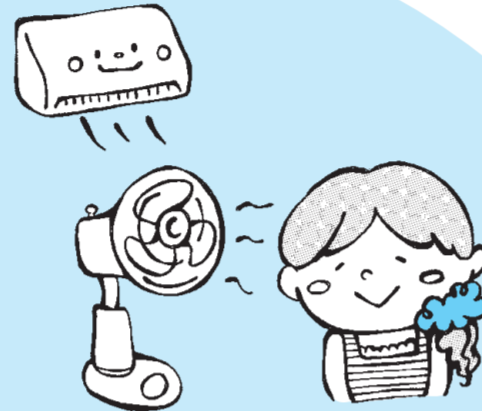
特集

6月は環境月間

始めよう！みんなで節電 & 省エネ生活

節電・省エネで夏をエコに過ごそう！

クールビズで夏を涼しく



クールビズは仕事場だけでなく家庭でも実施してみましよう。エアコンの温度設定が28℃で暑いと感じたときは、扇風機を使って室内の空気を循環させましよう。

気温と湿度が上がるこれからの季節を、家計にも環境策で過ごしましよう。

緑のカーテンで自然の風を

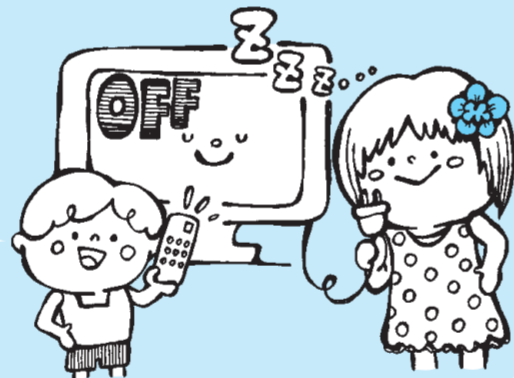
緑のカーテンで自然の風を



市庁舎に涼しさと呼ぶ緑のカーテン

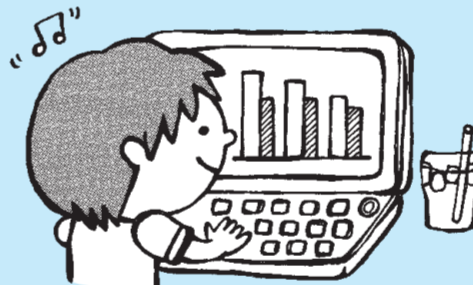
ヘチマやニガウリ、朝顔などで作る緑のカーテンが効果的です。夏の日差しを和らげ、蒸散作用(根から吸い上げた水を葉から水蒸気にして出すこと)により葉の表面温度が下がり、葉の間から涼しい風が流れ込む自然のエアコンになります。

こまめにスイッチオフ



家電製品は使っていないときでも電気を消費しています。テレビやパソコンなどを使わないときには、電源を切るようにしましょう。また長時間使わないときにはプラグを抜きましよう。

「見える化」で意識して



電気・軽油・重油などのエネルギー使用量をグラフ化して前年と簡単に比べられるようにした「見える化」グラフのエクセルファイルを、市ホームページから自由にダウンロードできます。省エネ意識の向上に役立ててください。

東日本大震災の発生から1年2カ月余り。この未曾有の災害を契機とした福島第一原子力発電所の事故の影響で、日本全体の電力不足が懸念されています。私たち一人一人が生活様式を見直し、節電・省エネを実行することで、地球温暖化防止にもつながります。まずは家庭や職場で節電 & 省エネ生活を始めましよう。

小中学校 市役所庁舎などに節電装置

施設全体の電気使用量を監視し使用量が契約電力の最大値近くになると、警報音で電気の使い過ぎを知らせる節電装置・デマンド監視装置。電力不足が懸念される夏場を前に、市内の小中学校78校と市役所庁舎(本館・別館・第二～四別館)などに設置することで、電気使用量ピーク値の低減を目指し節電に努めます。

学校施設では震災後の全国的な電力不足から昨年、10校で試験的に導入。その結果、平成23年度の電気使用量が前年度比約5%、基本料金も各校平均で約15万円減少したことから、今年度新たに68校に設置。平成元年から導入している市役所庁舎でも、平成23年度の電気使用量が前年度比4.4%減少し、今年度新たに第二・三別館に設置しました。

平成23年度の電気使用量ピーク値が約12%減少した素鷲小学校で環境主任の田中 元志教諭とデマンド警報装置



エアコンの使用が増える夏場と冬場にプザーが鳴ることが多く、プザーが鳴ると教職員が職員室のエアコンを切るなどして、節電に努めています。子どもたちにも不要な照明の消灯を積極的に声掛けするなど、教職員が節電を意識することで、子どもたちにも節電意識が浸透してきているのではないかと考えています。

松山市 クールビズ実施中

本市では5月1日から10月31日まで、冷房時の室温を28℃に設定し、ノーネクタイ・ノー上着の軽装で快適に過ごすクールビズを実施しています。取り組みにご理解をお願いします。



お問い合わせは、環境事業推進課 ☎948-6437・☎934-1861へ

マイバッグで買い物！手軽にエコ



EM容器	コンポスト	電気式ごみ処理機
補助金額 本体価格の2分の1		
補助金上限額	4,000円	20,000円
補助基数	1世帯年度につき2基まで	1世帯年度につき1基まで
申請場所	清掃課(室町一丁目) 環境事業推進課(市役所別館4階) 支所・市民サービスセンター	電器店などの指定販売登録業者
対象機種	上記窓口を設置しているカタログから選択	業者が取り扱っている商品から選択

生活ごみの減量・リサイクル

生ごみ(調理くずや食べ残し、賞味期限切れによるもの)は、可燃ごみの半分以上に占めています。これらはちぎって工夫で減量することができます。

① 計画的な買い物・エコクッキング

② 水切りの徹底・天日干し

③ 生ごみ処理容器などの利用

本市では生ごみの減量・リサイクルを目的に、コンポストや電気式生ごみ処理機などの購入費用を補助しています。

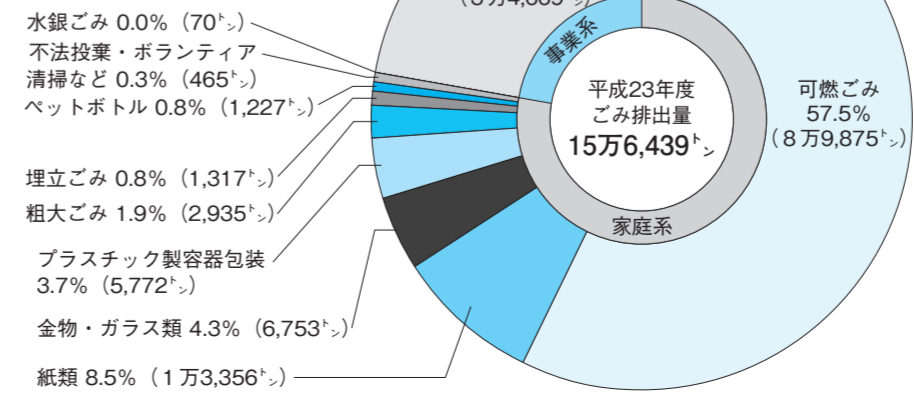
【補助金額など】左表のとおり

申し込み購入前に印鑑を持って各申請場所へ

お申し込みは、環境政策課 ☎948-6459・☎934-1812へ

平成23年度 ごみ排出量1,569ト減

平成23年度ごみ排出量は前年度比1,569ト減となり、3年連続で減少しました。そのうち可燃ごみは229ト減となっています。



1人1日当たりごみ排出量 5年連続で最少

平成22年度ごみ排出量839.1g

本市の平成22年度1人1日当たりのごみ排出量が人口50万人以上の都市で最少となりました。この結果は、市民の皆さんのごみ減量へのご理解とご協力によるものです。今後も、「ごみの少ないまち」として誇れるよう「必要以上に物を買過ぎない」「フリーマーケットを利用する」など、引き続きご協力にご協力ください。

平成22年度一般廃棄物処理事業実態調査

順位	自治体	排出量(グラム/人日)
1位	松山市	839.1
2位	広島県 広島市	841.8
3位	東京都 八王子市	844.6

※環境省による調査

お問い合わせは、清掃課 ☎9215516・☎9216311へ